

分野 15 人権尊重・多様性



目指す姿

多様な人々が認め合い、交流し、誰もが自分らしく暮らせるまちになっています。

さつま町のいま

- 関係団体の活動により、人権教育や女性活躍、国際交流や多文化理解の取り組みが進められています。
- 性別や国籍など、あらゆる属性や文化の違いにかかわらず、お互いを理解し、認め合う共生社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

成果指標

	R6	R12
各種審議会等の女性登用率	21.3%	30.0%
地域に住む外国人と接点があると答えた割合	18.3%	25.0%
人権イベント来場者数	250人	400人



- 進捗管理指標

 - 多文化交流イベントの年間延べ参加者数
 - 人権教育年間実施回数
- 関連計画

 - 過疎地域持続的発展計画
 - 教育振興基本計画
 - さつま町建設計画
 - 職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン
 - 人権教育推進計画
 - 男女いきいき幸せプラン
 - DX推進計画

1 実施の方向性

お互いを知り尊重できるまちにします

- 人権尊重に向けた教育や普及活動を行うとともに、人権相談に関する支援体制の充実に取り組みます。
- 暴力や虐待が発生した際に、適切な支援が行われるよう、関係機関と連携を強化します。

まちのみんなでできること

- 差別やいじめを許さず、互いに認め合い人権を尊重する地域をつくりましょう。
- 周囲で暴力や虐待が疑われる場合は、相談窓口や警察に通報しましょう。

2 実施の方向性

誰もが活躍できるまちにします

- 男女共同参画に関する啓発や、役場の管理職、委員会への女性登用を推進します。
- 地域で男女共同参画に関する活動を行う団体を支援します。
- 男女がともに仕事や家庭に参画できるよう、ワーク・ライフ・バランスの啓発を進めるとともに、働く場や家庭、地域活動などでの活躍を推進します。

まちのみんなでできること

- 性別等にかかわらず一人ひとりの個性を尊重しましょう。
- 職場・家庭において、男女がともに活躍できるよう、配慮しましょう。

3 実施の方向性

多文化共生の地域づくりを進めます

- 文化の違いや一人ひとりの違いを理解し共生できるよう、多文化交流を推進します。
- 外国籍の町民にも配慮した行政サービスの提供体制を整備します。
- 地域活動への参加呼びかけや地域の生活ルールの共有、災害時の配慮など、地域コミュニティに参画し、ともに生活できる環境づくりに取り組みます。

まちのみんなでできること

- 外国籍の人も含めた、地域で誰もが交流できる機会をつくりましょう。